

基本理念、基本方針と主要施策

基本理念

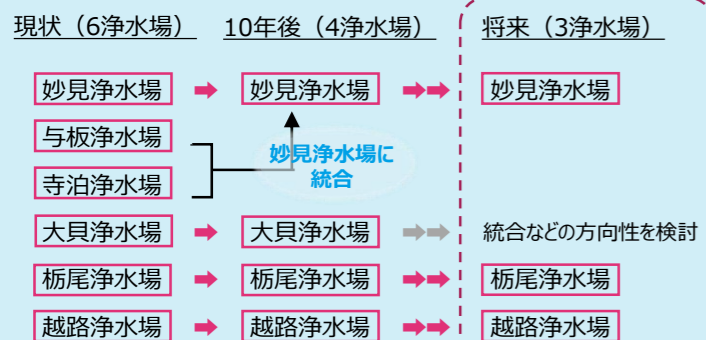
安全でおいしい水を長岡の未来へつなぐ水道
～当たり前水道を いつまでも「あたりまえに」～

keyword

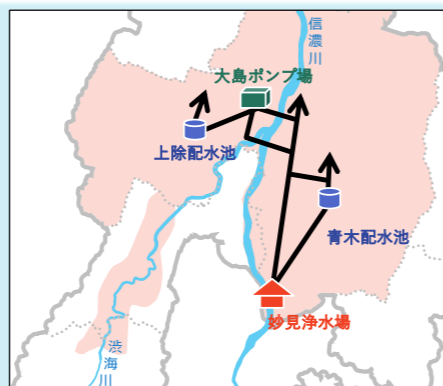
選択と集中

50年先を見据えた重点的な取組み

① 効率的な水運用に向けて、妙見浄水場を核に栃尾及び越路浄水場を加えた3浄水場への再編を進めます。

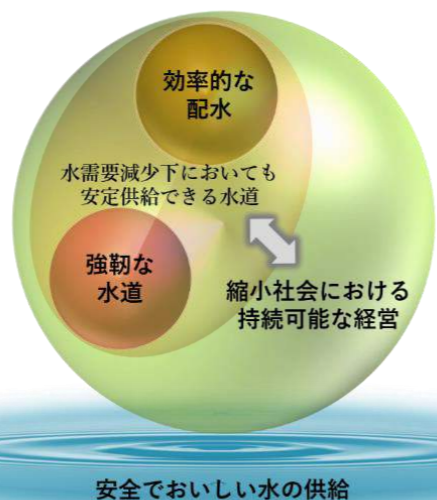


② 妙見浄水場給水区域の「骨格送配水幹線網」を高水準な維持管理で保全します。



基本方針

今後10年間の戦略的取組みとして、基本方針（右図）を定め、未来への投資を行っていきます。



施策目標・主要施策の体系図

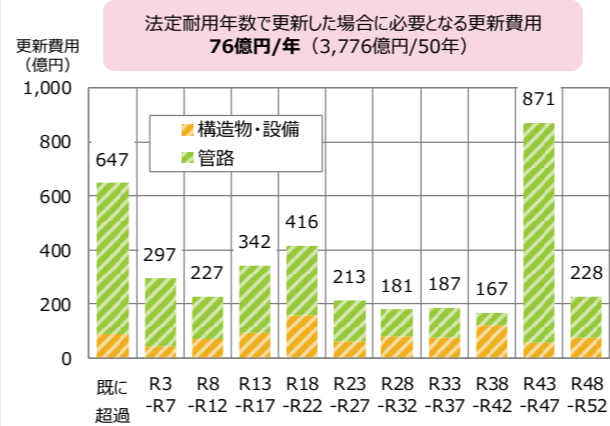


経営戦略（上水道）

戦略

- 与板・寺泊浄水場の妙見浄水場への統合の実施
- 老朽設備の優先的な更新と長寿命化に努めた目標耐用年数での更新

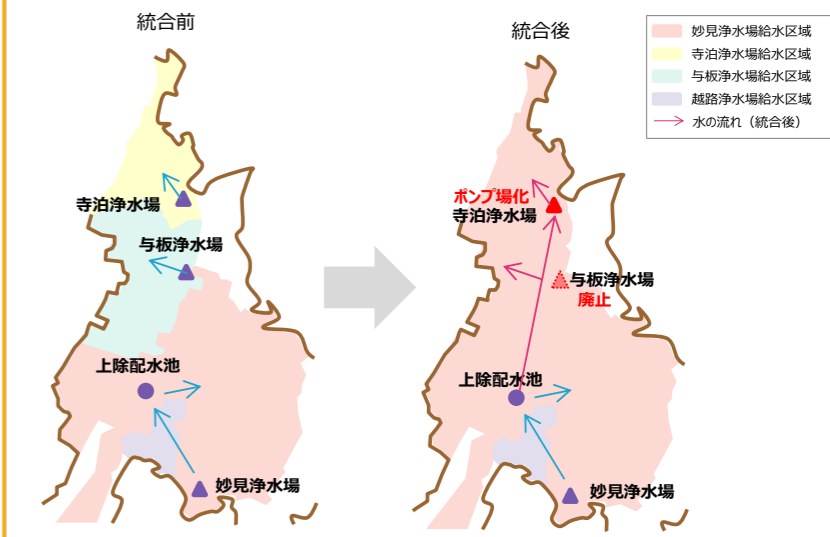
アセットマネジメント（投資計画）



与板・寺泊浄水場の妙見浄水場への統合事業の概要

【統合事業の効果】

1. 更新事業費を40億円程度削減
2. 1年あたり1.3億円の維持管理コストを削減
3. 水量・水質面の安定化が図れる

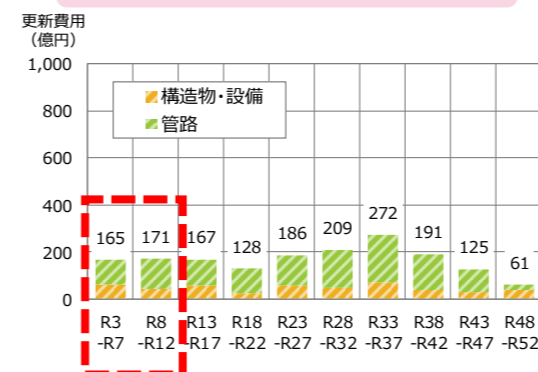


更新費用削減の取組み

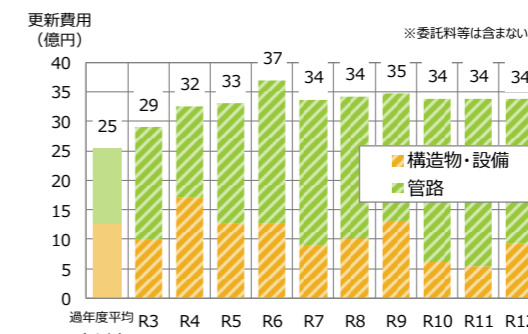
- 目標耐用年数の採用による更新サイクルの延長
- 与板・寺泊浄水場の妙見浄水場への統合
- 更新計画対象管路の選択

<削減効果>

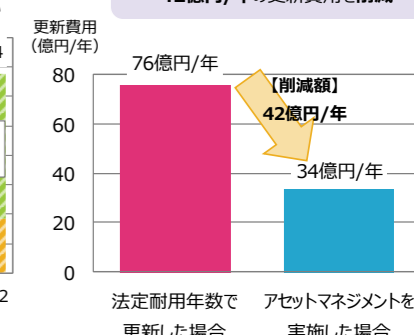
目標耐用年数で更新した場合に必要な更新費用
34億円/年（1,675億円/50年）



目標耐用年数の採用による更新サイクルの延長等



アセットマネジメントを実施することにより
42億円/年の更新費用を削減



財政計画

- 収益的収支は、料金収入の減少に加え、与板・寺泊統合事業に伴う除却費の計上や、更新費用の増加に伴う減価償却費の増加により、令和8年度から純損失が生じる見込み
- 資本的収支は、更新事業費の増加に伴い内部留保資金の使用額が増加するため、令和9年度には資金残高はマイナスとなる見込み

今後の取組方針

- 業務の効率化や資産のスリム化など経費の節減に努めつつ、資金不足が生じないよう適切な時期に料金改定を行います。
- 内部留保資金の活用と企業債の借入れで資金を確保し、企業債残高に留意し、過度な借入れとならないよう努めます。

